

化石魅力化プロジェクト 化石標本室 新装オープンに向けて

ゆきの灯り

第50号
令和3(2021)年
3月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228



2月初旬、西川化石標本室の改装工事がいよいよ始まりました。展示室開設に際し、候補地については様々な意見がなされていましたが、最終的に元の「西川化石標本室」を改装することに決定。前号でお伝えした様に、標本の運び出しから工事が始まり、2月末現在で床下の排水工事や床板の張替などが進んでいます。



水神さんのお祓い

工事の進捗に伴い今後は塞いでしまう井戸があるため、工事の無事も願って2月15日にお祓いを行いました。2月22日にプロジェクトメンバーが集まり、標本を保管する収蔵庫の造作についてや、ライティングについてなどが話し合われ、工務店さんに反映をお願いしました。工事期間は概ね2ヶ月の予定です。

上下ふらふらと翁館& 昭和のおもちゃ・資料館を視察見学
標本の展示方法を考えるにあたって参考にしたいと、1月30日、まだ雪の残る中メンバー有志で「上下ふるさと翁館」と豊松の「昭和のおもちゃ・資料館」に見学に行きました。当日は「懐かしの写真展」のメンバー1人がこれに加わりました。



昭和のおもちゃ・資料館はNPO法人とよまつむらの運営する施設で、こちらでも昭和の懐かしいおもちゃや学習教材などが展示されています。見学した施設は、どちらも地域住民が主体となり運営しています。手作りならではの工夫が要所に見られる内容でした。

教育委員会を訪問し 協力体制について 意見交換
2月3日、教育委員会に赴き、化石魅力化プロジェクトを地域だけでなく学校教育にも活かすための方策について、教育長、まちづくり推進課長、担当職員の方々と意見を交換しました。今後、プロジェクトが進行する中で、スムーズな協力体制が整うようお願いしました。

竹林保全の有効策として、竹チップの導入を計画していた地域農業担い手支援チーム。無事、機体の納品が終了し、いよいよ貸し出し事業を開始します。

地域農業担い手支援チーム ウッドチップper導入で 環境保全へ 貸出開始

貸し出しのルール

貸し出せる人

- 油木地区に居住している人
- 油木地区内で利用する人 (どちらかに該当すれば可)

利用料

- 半日 2000円(4時間まで)
- 全日 3000円(半日を超える)
- ※稼働時間(実動)に応じて利用料が発生します。
- ※持ち出し期間は最長7日間(搬出・搬入を含む)です。

利用方法

- ① 電話などで事前申し込み。
- ② 利用申請書を提出
- ③ 返却時に利用報告書を提出。利用料の支払い。



燃料と運搬は各自でお願いします。(燃料満タン返却・軽トラ積載可) 詳しくは油木協働支援センターまでお問い合わせください。

神儀チーム 練習として 節分祭を撮影

伝統文化継承を目的として活動している神儀チームは、撮影練習をするため、2月7日(日)に油木八幡神社の節分祭にお邪魔しました。

神儀を撮影するときの注意点を確認し、また撮影した映像をどのように編集していくかを検討しています。これからのチームの活動としては、昨年11月に、悪天候のため中止にした安田の神社を3月に撮影する予定にしています。

た油木八幡神社と吉備津神社の映像をDVD・ブルーレイにダビングして頒布します。またYouTubeに動画を公開します。これから撮影した映像も徐々にいろいろな方法で皆さんにお届けできたらと計画しています。



節分祭撮影風景

油木八幡神社と吉備津神社

ドローンによる撮影で社殿やご神木の全容が現れました

撮影した動画をDVD ブルーレイで頒布!



- 申込先 油木協働支援センター
 - ダビング手数料(メディア代込) 300円
- DVD方式またはブルーレイ方式をお選びください

移住促進・定住チーム 空き家バンクについて検討

移住促進・定住チームでは、移住促進に重心を置き推進していくために、町の事業である空き家バンク登録制度を充実させよう、ということとなりました。

- ・空き家または、将来空き家になりそうな物件の所有者への啓発運動
- ・空き家の状況の実態調査。
- ・移住希望者から問い合わせがあった時の対応に地域内で当たる体制の構築



空き家バンクに登録されている空き家

今後、「ゆきの灯り」で啓発活動の記事を連載しようとの申し合わせもできました。

神石高原町協働支援センター 連絡会議

4地区の協働支援センター連絡会議が2月、三和協働支援センターで行われました。

初めに支援センターに係る新年度予算概要をまちづくり推進課から説明を受けました。また一括交付金のうち、自由財源枠の配分について令和3年度から見直すことが提案され協議の結果、均等割45%・人口割55%に決定し各センター幹事会で報告することになりました。

次に第2期まちづくり計画の策定状況について各センターから計画や素案の報告がありました。「第2期まちづくり計画」とは令和3年度から5年間の長期計画のことです。最後に情報交換のため、広報紙を共有することを決定しました。

専門部会連絡協議会の開催

2月8日、油木コミュニティセンター研修室にて専門部会連絡協議会を開催しました。一昨年度で行われたものとは内容を変更し、事業チームのリーダーに、各種団体からの選出幹事を加え、予算の配分や次期長期計画についてを主に協議しました。

【協議事項】

- ・今年度補正予算について
2月時点で補正はなし。期末まで希望を事務局で受け付ける。
- ・来年度事業案および予算案について
1月末時点で提出された各事業予算より、増減額の希望はなし。事業案については一部修正あり。幹事会へ。
- ・第二期長期事業計画について
計画された各事業を編集。幹事会へ。

ゆきなび 大人の教室

大切な人に特別なチョコレート

2月14日(日)に「かわ」で、プロが教えるチョコレート教室を開催しました。室温を調整しました。

チョコレート作りは温度管理や細かい作業が必要です。講師の横山敬重さんの丁寧な指導でとても美味しいチョコレートができました。小学生の参加者もいましたが、3人ずつ2班に分かれて、助け合いながら楽しんでできました。



3月2日(火)開催 幹事会 議決内容

- 〈「にしかわ」プリンターの購入〉
プリンターが故障したため買い替え。複合機を新規購入21万9800円
- 〈「にしかわ」エアコンの設置〉
「にしかわ」の2階にエアコンを新設
37万9500円
- 〈美しい景観づくり・花いっぱい運動助成金交付要綱の変更〉
対象者・対象経費・助成金の額等を変更
- 〈第二期長期事業計画の策定〉
専門部会連絡協議会で協議・提案された計画を承認
- 〈令和3年度事業計画の策定〉
各専門部会および連絡協議会で協議・提案された計画を承認

お家で出来る！ 味噌作り

3月2日(火)に今年度最後の教室、味噌作り教室を開催し、10名が参加しました。今回は講師の中平さんの他に、神龍味噌を引き継いだ門田さんが助手としていらっしやいました。

始めに材料の比率による味噌の違いや、味噌作りに失敗しない食塩の量などの説明を聞きました。その後、実際に味噌を仕込みながら、味噌作りが失敗しないコツや、家庭で味噌作りを行う方法などを丁寧に教えていただき



ぎゅっと握って 空気を抜きます

きました。とても人気のある教室で、皆さん楽しく味噌作りが出来ました。

各事業チームの動き 2月

- ・地域づくり部 移住促進・定住チーム
2/26 会合 移住促進のための空き家バンクの推進について
- ・地域づくり部 地域の情報を集めましょう会
2/28 会合 前回決定したテーマでの情報(記事)の持ち寄り
- ・ゆきなび部 化石魅力化プロジェクト
1/30 ふるさと翁館と昭和のおもちゃ・資料館 視察見学
2/2 協力体制について意見交換 教育委員会を訪問
2/22 会合 標本を保管する収蔵庫の造作や、照明の選定
- ・ゆきなび部 神儀チーム(神儀映像保存)
2/7 油木八幡神社・節分祭の撮影
- ・福祉部
2/25 会合 各地域サロン・豆まめクラブへの支援について
- ・農商業推進部 地域農業担い手支援
2/22 会合 ウッドチップの貸出方法について
- ・チーム懐かしの写真展
2/12 会合 第2回写真展の開催について

消防訓練

2月10日に通報・消火・避難訓練を行いました。当日に油木コミュニティセンターを利用していた方も参加されました。

通報訓練と避難訓練では油木コミュニティセンターの給湯室からの出火を想定しての訓練を行いました。消火訓練では消火器の使用手順の確認と、センター前の木を火に見立てて火元を狙う練習をしました。

最後は火災時の対応について話し合いをしました。慌てずに通報すること、危険だと思ったら早く避難することなどが大切であると学びました。



通報訓練のようす

ゆきの灯り 協賛広告募集中!

- ・どなたでも掲載することが出来ます。
- ・町内の方は1回1500円
町外の方は1回3000円で掲載できます。
- ・大きさは縦5cm以下×横9cm以下です。

詳しい内容は油木協働支援センターまで

お問合せ・お申込は油木協働支援センターまで。

TEL: 82-0701
FAX: 82-2228
E-mail: y-kyoudou@sky.kagayakinet.ne.jp